

銭形砂絵

琴弾公園の銭形砂絵は、有明浜の白砂で直に成形されている巨大な銭形のモニュメントです。見た人は長寿と、お金に不自由しない運に恵まれる、と伝えられるこの像は周囲 345m、幅が最長で 122m あり、周囲は黒松の木で囲われています。その起源については、はっきりと記録されていません。しかし最もよく引き合いに出されるのは、高松藩主の生駒高俊（1611-1659）を歓迎するため、1633 年に住民によって一夜にして作られたという逸話です。

銭形砂絵は砂のみで作られています。その大きさと周囲の松の木によって雨や風に対し比較的耐久性があります。地元の住民たちが年に 2 回、春と秋に集まって修復を行います。作業時には一般公開されていない砂絵の内部を見て回ることができるため、数百人もの参加者が集います。

この芸術作品の全景は、近くの琴弾山に設けられた高台の展望台からはっきりと観ることができます。展望台へは、浜から車で、あるいは徒歩 15 分でたどり着けます。銭形砂絵は、夜になるとライトアップされて更なる魅力を楽しめます。通常時のライトはグリーンですが、特別な機会には他の色が使われることもあります。年末宝くじの期間には毎年、巨大な銭形砂絵が金色に輝きます。